

資料

香川県の1970～2006年における主要魚種の漁獲量と単価の推移

山本昌幸

Annual changes in catch and unit price of major fishes and shellfish in the Seto Inland Sea off Kagawa Prefecture, from 1970 to 2006

Masayuki YAMAMOTO

キーワード：漁獲量，単価，年変動，瀬戸内海

近年，生産者段階での魚価（魚介類の単価）の下落・低迷が漁業経営の問題となっている¹⁾。魚価は，需要と供給のバランスから，一般的に漁獲量が多いと下がり，逆に漁獲量が少ないと上がる傾向があった。しかし，近年では，海外を含む他産地からの供給，消費者の嗜好変化，小売価格から生産者価格が決まるなどの多様な要因によって決定されるようになり，漁獲量が少なくても魚価が下落し続ける魚種や漁獲量の増減に関わらず，魚価が一定の魚種がみられる。水産資源を安定的に保全し，高い水準で安定した生産金額を確保するために資源管理型漁業が推進されているが¹⁾，この施策を効率的に推進するために，様々な魚介類の漁獲量や単価の推移をみる必要があるとされる。本研究では，香川県における1970年から2006年までの主要魚介類の漁獲量と消費者物価指数で補正した単価の年変動を調べた。

材料および方法

香川県農林水産統計年報²⁾の海面漁船漁業の漁獲量と生産額を用いて，1970年～2006年（37年間）の香川県における魚介類の漁獲量（t）と単価（円/kg）を調べた。対象種は，香川県の海面漁業30年以上のデータが蓄積されている魚介類35種とした。単価は，生産額（円）を漁獲量（kg）で除した後，2005年度（平成17年度）基準の消費者物価指数の生鮮魚介の値（<http://www.stat.go.jp/data/cpi/index.htm>）を用いて補正した。対象種の漁獲量と単価の増減傾向をみるため，スピアマンの順位相関係数の検定（5%水準）を行った。

結果および考察

漁船漁業の漁獲量と単価の推移

表1に35種の魚介類の漁獲量と単価の推移を示す。1970年から2006年における海面漁船漁業の漁獲量は減少傾向で，単価は上昇傾向にあった（図1）。しかし

ながら，海面漁船漁業の漁獲量は1970年代前半と比べて，2000年代後半には約40%と大幅に落ち込んでいた一方で，単価について同様に比較すると，3円しか増加していなかった。単価が最も高かった年代は1990年代後半であった。主要35種の魚介類において，漁獲量が増加，一定，減少していた魚種数は，それぞれ，11種，9種，15種であった。単価が上昇，一定，下降した魚種数は，それぞれ，9種，9種，17種であった。下記に魚種ごとの漁獲量と単価の推移を述べる（図2）。

コノシロ（漁獲量，－：減少傾向；単価，＋：上昇傾向）

1971，1972年には約1,000tの漁獲があったが，1973年に半分の421tに落ち込み，それ以降，300～500tの漁獲があった。しかし，1992年に115tと大幅に漁獲量が落ち込み，それ以降，漁獲量は80～292tで，低位に推移していた。単価は，1990年後半に200円以上となったため，上昇傾向となったが，2000年代後半には100円を下回った。なお，1977年～1982年のデータは未整備であった。

マイワシ（漁獲量，＊：増減傾向なし；単価：＋）

1978年～1981年，1997年，1998年に2,000tを超える漁獲があったが，2000年以降の漁獲量は200t以下であった。単価についてみると，1995年以前は，1972年

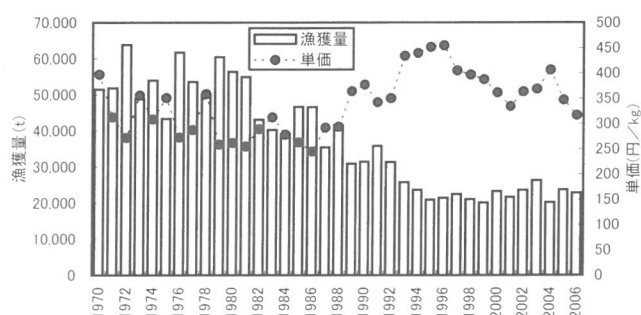


図1 香川県における海面漁船漁業の漁獲量と単価の推移（1970年～2006年）

表1 香川県における主要魚種の漁獲量と単価の推移

魚種名	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		増減*1	1970年代		1980年代		1990年代		2000年代		増減
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半		前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	
コノシロ	738	540	366	355	182	163	133	109	-	188	44	28	39	85	216	151	93	+
マイワシ	28	2,217	1,357	755	718	1,565	115	47	*	366	35	36	41	76	194	298	317	+
ウルメイワシ	1	19	16	13	5	27	103	82	+	151	76	75	83	126	145	131	95	+
カタクチイワシ	17,952	18,292	15,042	16,218	6,732	3,638	7,226	6,978	-	53	44	49	75	140	111	89	93	+
シラス	294	191	2,088	3,952	1,753	1,366	2,042	1,785	+	290	289	250	166	190	154	209	422	*
イカナゴ	16,266	13,057	11,311	4,067	6,601	2,579	1,921	2,835	-	55	55	51	50	40	134	257	72	*
マアジ	757	250	256	220	307	854	339	236	*	541	629	393	398	358	289	345	358	-
ムロアジ類	83	36	252	120	168	107	106	85	*	432	998	569	167	136	163	206	223	-
サバ類	371	322	427	823	788	121	123	95	*	133	122	65	48	144	269	418	388	+
ブリ類	55	24	22	17	20	38	43	30	*	1,491	1,314	868	825	960	890	731	723	-
サワラ類	125	222	541	848	422	82	110	172	*	2,913	1,734	1,101	860	1,475	2,561	1,409	1,344	*
スズキ類	241	302	313	141	155	256	336	312	*	2,586	2,653	1,388	1,303	1,050	767	488	622	-
ヒラメ	20	38	49	67	74	128	130	128	+	3,611	3,092	3,317	3,102	2,516	2,071	1,825	1,424	-
ニベ・グチ	156	1,503	714	507	339	283	254	216	-	316	301	310	335	237	184	171	178	-
エソ類	77	64	54	73	28	26	18	18	-	257	90	103	51	74	169	179	152	*
イボダイ	19	1	1	2	83	66	85	50	+	899	952	1,131	782	334	371	356	222	-
アナゴ類	842	634	633	655	578	399	281	283	-	1,128	911	607	540	647	909	912	692	*
フグ類	138	142	370	414	431	205	241	246	*	1,651	1,192	979	1,273	1,940	2,704	1,045	608	*
ハモ	16	2	2	2	7	14	31	63	+	1,424	1,731	1,741	2,158	1,200	1,107	717	723	-
タチウオ	97	20	23	86	444	161	116	124	+	92	221	204	208	252	413	583	679	+
マダイ	35	41	72	66	73	186	319	360	+	4,200	2,516	2,333	1,866	1,295	1,308	874	732	-
クロダイ・ヘダイ	356	487	424	334	293	312	266	232	-	2,818	2,331	1,694	1,437	1,042	657	432	474	-
ボラ類	410	463	591	345	150	151	145	120	-	970	604	295	203	208	218	151	137	-
クルマエビ	47	48	43	76	75	69	47	45	*	9,688	6,543	6,384	5,800	5,003	4,558	4,157	3,317	-
その他エビ類	2,155	2,165	2,162	1,774	1,606	1,005	983	939	-	746	739	761	502	479	817	746	765	*
ガザミ類	23	90	245	103	113	139	94	162	+	3,579	1,634	1,619	1,866	1,700	1,347	1,497	1,342	-
その他カニ類	205	439	363	258	165	126	65	58	-	927	528	296	359	648	777	712	735	*
シヤコ*2	650	1,229	834	994	736	356	147	135	-	381	277	294	325	480	468	446		+
サザエ	22	27	29	25	37	32	38	28	+	770	1,231	978	1,186	1,246	1,136	883	1,026	*
アサリ類	87	88	56	24	60	33	6	5	-	156	215	313	266	431	365	442	544	+
タイラギ*2	2,603	1,002	909	372	235	368	619	644	-	445	432	318	422	482	219	157		-
マテガイ*2	219	543	535	123	26	14	18	14	-	510	225	169	389	485	1,238	817		+
コウイカ類	1,223	1,305	100	69	72	168	289	376	-	615	615	886	748	609	499	450	336	-
その他イカ類	69	207	433	234	229	329	300	265	+	4,468	1,268	367	332	480	466	331	327	-
マダコ*2	564	570	418	263	886	722	1,162	946	+	2,899	1,734	1,344	1,666	728	685	494		-
魚介類合計*3	54,008	53,793	46,742	40,233	29,629	21,215	23,022	22,443	-	329	306	279	291	389	419	367	332	+

1:「+」増加傾向(5%水準;スピアマン順位相関係数の検定),「」有意差なし,「-」減少傾向(5%水準)

*2:2002年以降の単価のデータのデータなし *3:海面漁船漁業の漁獲量および単価

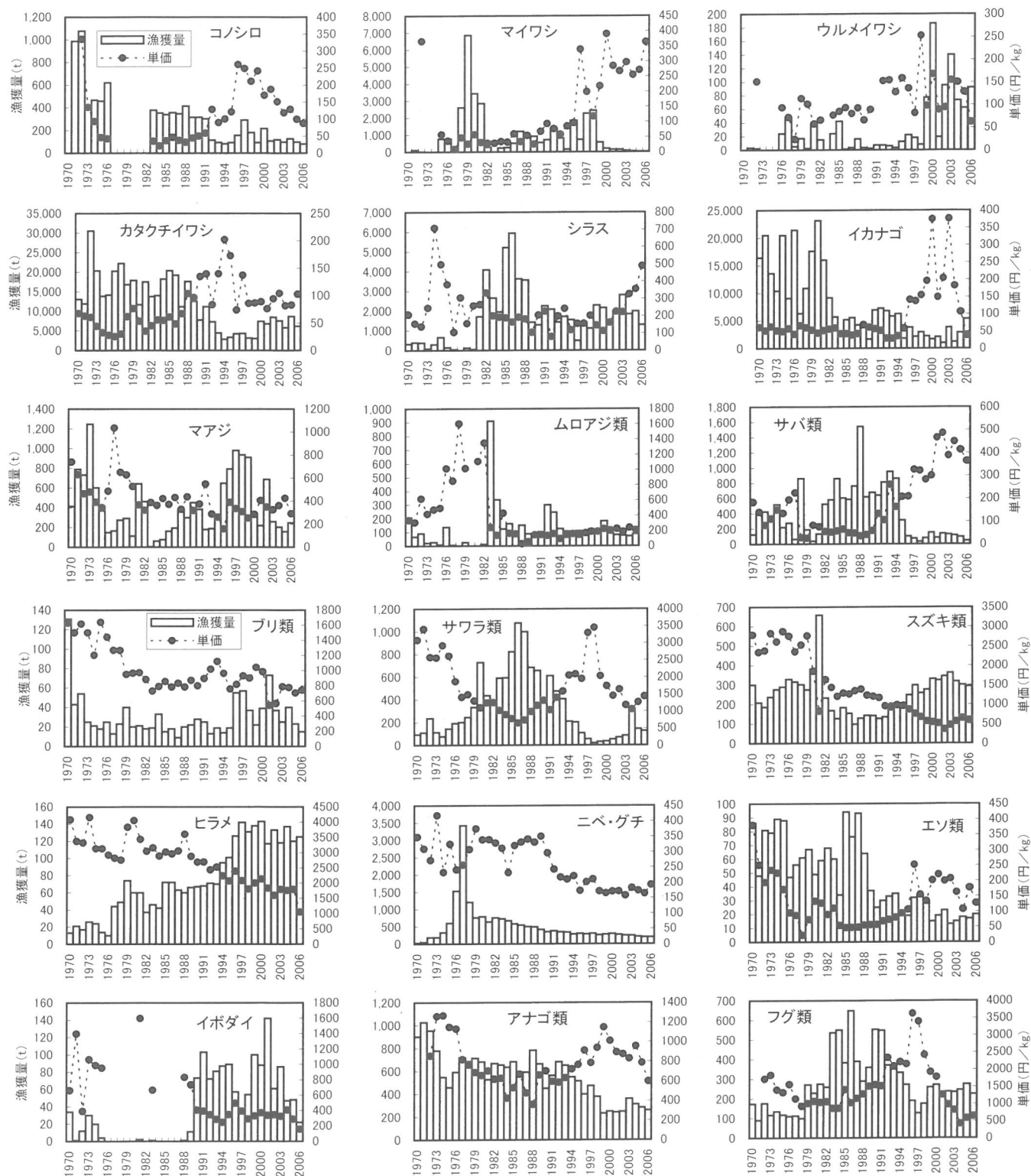


図2 香川県における主要35種の漁獲量と単価の推移 (1970年～2006年) (1)

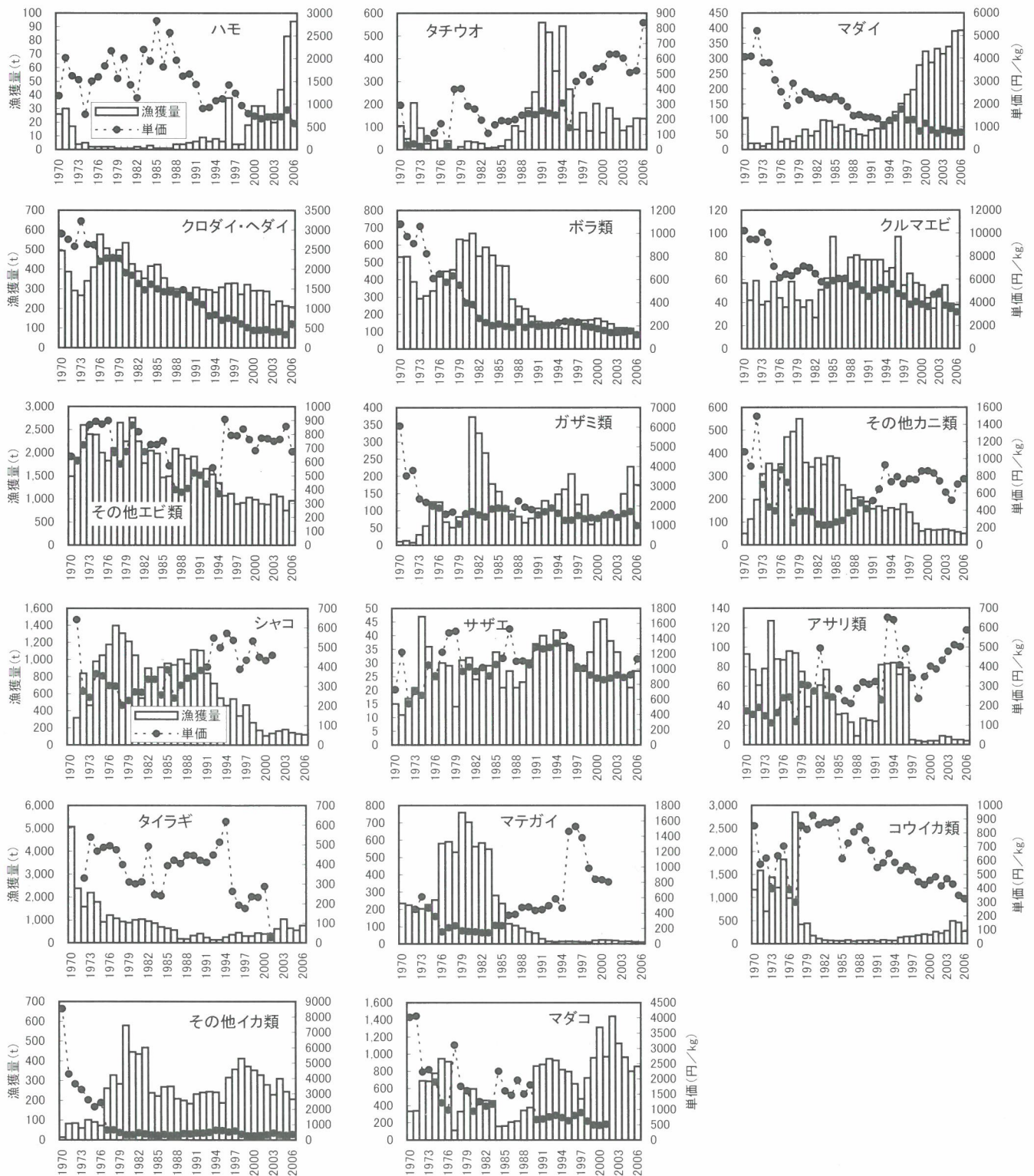


図2 香川県における主要35種の漁獲量と単価の推移（1970年～2006年）（2）

を除いて100円を下回っていたが、それ以降は200円以上で推移している。なお、1970年のデータは未整備であった。

ウルメイワシ（漁獲量，+；単価，+）

1998年以前は47t以下の漁獲であったが、それ以降は、2001年を除いて、100（62～167）t程度の漁獲で推移していた。1990年以前、単価は主に100円以下で推移していたが、それ以降は主に100円以上（平均：132円）で推移していた。なお、1970年のデータは未整備であった。

カタクチイワシ（漁獲量，－；単価，+）

1989年以前の漁獲量は1万t以上で、2万tを超える年も珍しくなかったが、1992年以降漁獲量が減少し、1993～1999年の平均漁獲量は約3,500tとなった。2000年以降、漁獲量が増加し、6,000～8,500tで推移していた。1986年以前の単価は30～60円（平均：50円）で推移していたが、それ以降、単価は高くなり、70～200円（平均：108円）で推移した。

シラス（漁獲量，+；単価，*）

シラスは、主にカタクチイワシ仔魚で構成されているが、マイワシが多獲されていた時期にはマイワシ仔魚も構成種となっていた。1980年以前の漁獲量は数十～数百tレベルであったが、1981年以降の漁獲量は、1996年の486tを除いて、1,000～6,000tで推移した。1970年代中頃を除くと、100～300円で単価が推移していた。

イカナゴ（漁獲量，－；単価，*）

1982年以前の漁獲量は、6,300～23,000t（平均：14,993t）と増減の幅が大きいものの6,000t以上であった。しかしながら、1983年～1994年の漁獲量は1,700～7,200t（5,133t）と大きく減少した。さらに、漁獲量は1995年以降に939～5,351t（2,562t）と減少した。1995年以前の単価は30～60円（平均：51円）で推移していたが、それ以降、上昇して38～376円（平均：188円）で推移していた。

マアジ（漁獲量，*；単価，－）

1970年代前半は414～1,248t（平均：757.0t）で、400tを超える漁獲があったが、1970年代後半から1990年代前半にかけては、1981年（641t）、1982年（462t）、1999年（452t）を除いて、400t上回る年がなかった。1990年代後半に漁獲が増え、漁獲量が648～981t（853.6t）となった。2000年代から漁獲量が減少し、156～331t（平均：299.6t）で推移した。1990年代前半以前の単価の平均値は463.8円となり、それ以降の値（323.6円）より高かった。

ムロアジ類（漁獲量，*；単価，－）

ムロアジ類は主にマルアジで構成される。1982年以前は、1970年、1976年を除いて、数tから数十tレベ

ルの漁獲量であったが、1983年に911t、1984年に338tの漁獲があった。1985年以降、1992年（299t）、1993年（246t）を除いて漁獲量は80～150tで推移していた。1983年以前には、単価が1000円を超えることもあったが、1983年以降の単価は430円を下回り、1990年以降の単価は150～200円で推移していた。

サバ類（漁獲量，*；単価，+）

サバ類はマサバで構成される。1978年、1982年～1994年の漁獲量は500t以上であり、1988年には1,542tの漁獲があった。1990年代後半以降漁獲量は30～150t程度で推移し、低迷していた。単価は、1980年代には100円以下であったが、1990年前半から2000年前半に上昇し、2000年以降の単価の平均値は409.2円となった。

ブリ類（漁獲量，*；単価，－）

ブリ類は主にブリで構成される。1970年の131tを除くと、漁獲量は10～70tで推移していた（平均：27.7t）。単価は、1970年代には平均1402.5円であったが、下降し続けて、2000年以降の平均値は728.6円と1970年代の約半分になった。

サワラ類（漁獲量：*；単価：*）

サワラ類はサワラで構成される。漁獲量は1970年から1986年に増加し、1986年に1,077tとなったが、それ以降減少傾向に転じて、1998年に18tとなった。それ以降、やや漁獲量が増加し、2004年に308tとなった。1970年代前半に単価は2500円以上であったが、漁獲量の増加に伴い、単価は下がり、1986年の単価は646円となった。それ以降、漁獲量の減少に伴い単価が上昇し、1998年に3452円となった。そして、その後再び下がり2000年以降の単価の平均値は、1390.7円であった。

スズキ類（漁獲量，*；単価，－）

スズキ類は主にスズキで構成される。1981年を除いて、漁獲量の傾向をみると、1970年から1976年に漁獲量は300t以上に増加し、それ以降、1980年代後半までに約120tに減少した。そして、1990年前半から漁獲量が増加し、2000年台前半に漁獲量は再び300t以上となった。単価は1970年代前半に平均で2586.3円であったが、下降し続け、1990年代前半には1000円を下回るようになり、2000年以降の平均値は526.5円と、1970年代前半の約4分の1となった。

ヒラメ（漁獲量，+；単価，－）

1970年代前半の漁獲量は20t程度であったが、それ以降、増加傾向となった。特に1977年～1979年と1993年～1997年の増加率が高かった。1996年以降、漁獲量は117～143tと高位で推移していた。単価は1970年代前半に平均で3611.2円であったが、下降し続け、1990年代後半には2000円を下回るようになり、2000年以降

の平均値は1710.3円と、1970年代前半の約2分の1となった。

ニベ・グチ（漁獲量，－；単価，－）

1970年に27tだった漁獲量は増加し、1977年に3,423tとなった。それ以降、漁獲量は急減し、1979年の漁獲量は756tと最盛期の4分の1以下となった。1980年以降も漁獲量は徐々に減少し、1990年代後半には200tを下回るようになった。1980年代前半に300円程度であった単価は、徐々に下がり、1990年代後半には200円を下回るようになった。

エソ類（漁獲量，－；単価，＊）

エソ類は主にトカゲエソで構成される。1970年代と1980年代の漁獲量は37～94t（平均：66.8t）で推移していたが、漁獲量が減少した1990年代以降の漁獲量は13～35t（平均：23.4t）で推移した。1970年代から1980年代前半、1980年代後半から1990年代前半、1990年代後半以降の単価の平均値は、それぞれ149.8円、98.2円、171.2円であった。

イボダイ（漁獲量，＋；単価，－）

1970年代前半に30t程度の漁獲があったが、1970年代後半から1980年代には、ほとんど漁獲がなかった。しかしながら、1990年代に入ってから漁獲量が急増し、22～142tで推移していた。1980年以前の単価の平均値は908.1円であったが、漁獲が増えた1990年代以降の平均値は338.6円であった。

アナゴ類（漁獲量，－；単価，＊）

アナゴ類はマアナゴで構成される。1980年代以前の漁獲量は500～1,000t（平均：674.1t）で推移していたが、1990年代に入ってから漁獲量が減少し、1990年以降の漁獲量の平均値は398.9tとなり、2000年以降、漁獲量が300tを下回ることが多くなった。1970年代中頃と漁獲量が250tを下回った2000年前後に単価が1000円を上回ったが、漁獲量の多かった1980年代の単価は359～704円（平均：573.4円）であった。

フグ類（漁獲量，＊；単価，＊）

その他フグ類は、トラフグ、ナシフグ、コモンフグなどで構成される。1978年以前の漁獲量は200t以下であったが、1979年～1994年の漁獲量は229～648t（平均：396.7t）と200t以上となった。1990年代後半以降にやや漁獲量が減少し、漁獲量の平均値は227.2tとなった。1980年代まで、単価は1000～1500円で推移していたが、1990年代には単価の平均値が2322.1円に上昇した。そして、2000年以降、単価が下降し、1000円以下となった。

ハモ（漁獲量，＋；単価，－）

1998年以前の漁獲量は、1970年～1972年、1996年に17～38tの漁獲があったのを除いて、数tレベルであったが、それ以降、漁獲量は増加し、2005年と2006

年には90t程度の漁獲があった。単価についてみると、漁獲量の少なかった1998年以前の単価の平均値は1537円（範囲：772～2829円）であったが、それ以降の平均値728円（576～871円）と半分程度になった。

タチウオ（漁獲量，＋；単価，＋）

1970年、1972年、1993年に96tを超える漁獲があったものの、これらの年を除くと1986年までの漁獲量は1～49tと、50tを下回っていた。しかしながら、105tの漁獲のあった1987年以降、漁獲量は75t以上を維持していた。特に1990年代前半には500tを超える漁獲があった。2000年以降の漁獲量は75～183t（平均：122t）で推移していた。1980年代、1990年代後半に単価は150～300円程度で推移していたが、1996年以降に上昇し、2000年以降の単価は500円以上で推移していた。

マダイ（漁獲量，＋；単価，－）

漁獲量は1974年以降増加し、特に1990年代の増加率が高かった。2000年代に入ってやや増加率が落ちたものの、増加傾向であった。1970年代（38.2t）に比べて、2000年代（340.0t）の漁獲量は約9倍増加していた。単価は漁獲量とは対照的に下落し続け、1980年代後半には2000円を下回るようになり、1970年代（3358円）に比べて、2000年代（834円）の単価は約4分の1に下がった。

クロダイ・ヘダイ（漁獲量，－；単価，－）

1976年の577tを最高に減少傾向となり、1980年代後半には300t程度で推移した。そして、2000年以降には漁獲量が300tを下回り、さらに2003年以降には240tを下回った。1970年以降、単価は下落し続け、1990年代前半には1000円を下回るようになり、1970年代（2574円）に比べて、2000年代（444円）の単価は約6分の1に下がった。

ボラ類（漁獲量，－；単価，－）

ボラ類はマボラとメナダで構成される。1972年～1973年に減少した漁獲は、1974年以降増加し、1981年に最も多くなった（667t）。それ以降、漁獲は減少に転じ、1990年には最大値の3分の1以下の189tとなった。1990年以降の漁獲量は100～190tで推移していた。1970年代前半に単価は約1000円であったが、1970年代後半から1980年代後半にかけて下落し、1990年以降、単価は120～240円で推移していた。

クルマエビ（漁獲量，＊；単価，－）

1970年～1983年の漁獲量は、27～59tで推移していたが、漁獲量が61tとなった1984年から漁獲量が最高値を示した1996年までは漁獲量が60tを下回ることなく、漁獲量の平均値は75.7tであった。1997年以降、増減があるものの漁獲量は減少傾向に転じ、2005年、2006年の漁獲量は40tを下回り、最高時の半分以下と

なった。単価は年代によって下落率がことなるものの、下降し続け、2000年以降の単価は3917円となり、1970年代前半の単価（9688円）の半分以下となった。

その他エビ類（漁獲量，－；単価，＊）

その他エビ類は、サルエビ、アカエビ、トラエビ、キシエビ、シラサエビ、クマエビなどで構成される。1980年代前半までは2,000t前後で推移していた漁獲量は、それ以降減少し、1990年後半以降の漁獲量は約1,000t程度で推移することとなった。1980年代前半までは600～900円で推移していた単価は、それ以降減少し、1990年前半に479円となった。しかし、1995年に単価が908円に上昇し、それ以降、700～900円（平均：779円）で推移していた。

ガザミ類（漁獲量，＋；単価，－）

ガザミ類は主にガザミで構成される。1970年～1973年の漁獲量は30tを下回っていたが、それ以降の漁獲量は50tを上回った。1981年～1983年に250tを超える漁獲があったが、それ以降、200tを超える年は、1996年と2005年のみであり、それ以外の年は70～150t程度（平均108.2t）で推移していた。1970年代前半の単価は3000円を超えていたが、それ以降は、1988年を除いて2000円以下となり、1990年代後半以降は1500円を下回るようになった。

その他カニ類（漁獲量，－；単価，＊）

その他カニ類は主にイシガニで構成される。1970年代後半から1980年代前半に300t以上の漁獲量となったが、1980年代後半以降、減少傾向に転じて、1998年以降の漁獲量は100t以下となった。1980年代の単価は250～400円で推移していたが、漁獲量が少なくなった1995年以降の単価は550～850円（742.6円）で推移した。

シャコ（漁獲量，－；単価，＋）

漁獲量は、1970年代後半から1980年代後半に550～1,400t程度で推移していたが、1990年代に入って急減し、2000年以降の漁獲量は200t以下となった。1970年代後半から1980年代後半の単価の平均値は299円であったが、それ以降の平均値は469円と上昇した。なお、1970年のデータおよび2002年～2006年の単価データは未整備であった。

サザエ（漁獲量，＋；単価，＊）

1970年代は漁獲量が20t以下（平均：24t）の年がみられたが、それ以降の漁獲量は20tを下回ることがなく、21～46t（平均：32t）で推移していた。1970年代前半の単価はややばらつきがみられた、単価は、1970年代後半以降に1000～1500円で推移していたが、2000年以降には1000円を下回るようになった。

アサリ類（漁獲量，－；単価，＋）

1983年以前の漁獲量は39～127t（平均：79t）で推移し、1980年を除いて、50t以上を維持していたが、

1984年以降減少し、1991年まで低位で推移した。1992年～1996年には漁獲量は80t程度で推移したが、1997年に急減し、それ以降の漁獲量は9t以下であった。単価は、1992年までは100～350円で推移していたが、それ以降は、ほとんどの年で350円を上回るようになり、2000年～2006年の平均値は471円となった。

タイラギ（漁獲量，－；単価，－）

1970年前半には、漁獲量が1,500tを超えていたが、それ以降、漁獲量は減少傾向となり、1992年、1993年に150t以下となった。1980年代後半から1990年代後半まで漁獲量が低迷したが、2002年以降、漁獲量がやや増加し、556～1,043tで推移した。1990年代前半の単価は300～600円で推移していたが、1995年以降の単価は300円以下となった。なお、1970年、1971年、2002年～2006年の単価データは未整備であった。

マテガイ（漁獲量，－；単価，＋）

1985年以前の漁獲量は200tを超え、1976年～1983年には500t以上あったが、1986年以降、漁獲量は減少し、1992年以降は10～22tで推移していた。漁獲量の多かった1979年～1983年には200円以下であったが、漁獲量が落ちた1995年～1997年には1400円程度となった。しかしながら、それ以降、単価は下がり、850円程度となった。なお、1970年、1971年、2002年～2006年の単価データは未整備であった。

コウイカ類（漁獲量，－；単価，－）

その他イカ類には、ハリイカ、カミナリイカ、シリヤケイカが属する。1977年以前の漁獲量は700～2,800t（平均：1,473t）で推移していたが、1978年以降は60～400tで推移した（平均：175t）。単価は、1989年以前は300～900円（平均：716円）で推移していたが、1990年以降は下落し、1998年以降は500円を下回った。

その他イカ類（漁獲量，＋；単価，－）

その他イカ類は、アオリイカ、ジンドウイカ類（ジンドウイカ、ヒメジンドウイカ、ベイカ）、ミミイカ、スルメイカ（地方名：マツイカ）などで構成される。1976年以前の漁獲量が102t以下であったが、1977年以降、200～500tで推移していた。単価についてみると、1976年以前は、2000円以上であったが、漁獲量が増加した1977年以降は700円以下となった。

マダコ（漁獲量，＋；単価，－）

1983年以前の漁獲量は、400～900t（平均：543t）で推移していたが、1984年～1989年には、漁獲量は400tを下回った。1990年以降、1995年～1998年に漁獲量が800tを下回ったものの漁獲量は高い水準で推移しており（平均：912t）、2000年以降は1,000tを上回る年も出てきた。単価をみると、1970年代前半に2000円以上であった単価は、1970年後半から下がり始め、漁獲

量が少なかった1980年後半にやや上昇したが、1990年以降の漁獲量増加に伴い、下降し、1000円以下となった。なお、2002年～2006年の単価データは未整備であった。

引用文献

- 1) 水産庁：2009. 平成20年度水産白書.
- 2) 中国四国農政局農林統計事務所：1971－2008. 第18－54次 香川県農林水産年報, 香川県農林水産統計協会.